

## 日本くすりと糖尿病学会 入会のご案内

本学会は、糖尿病療養指導に従事する多くの薬剤師、そして、糖尿病治療薬の研究に従事する薬学研究者が連携をとりながら糖尿病薬物療法に貢献することを目的としています。

この目的達成にはすでに日本糖尿病療養指導士（CDEJ）を取得している2500名強の薬剤師のネットワーク作りならびに地域糖尿病療養指導士（CDEL）および薬剤師との連携強化が必須と考えております。

糖尿病領域における薬剤師の方々を中心として、これらの環境に対する期待と信頼の高まりに応えるため、私たちは2010年4月に前身団体「薬と糖尿病を考える会」を設立し、2012年1月に一般社団法人「日本くすりと糖尿病学会」と社団化・改称して活動を展開しております。

これまで、病院薬剤師や薬局薬剤師を始めとする臨床の薬剤師と基礎薬学研究者の連携を密にし、薬剤師としての糖尿病領域での専門性を高め、糖尿病薬物療法の発展に貢献するための活動を行って参りました。近年、医師や栄養士の方々など幅広い専門領域の先生方も当学会の活動に対してご理解やご協力を賜ってきたことで、会員も年々増加し、学術集会の参加者も1,000名を超えるまでに至っております。しかしながら、学会としてまだ成長過程にあり、より多くの皆様方に当学会にご参画いただき、ともに本学会の目標達成に向けて行動していくことを切に願っております。

多くの方々のご入会、ご賛同を心より祈念するとともに会員の皆様の更なるご支援をお願い致します。

2019年1月吉日

一般社団法人日本くすりと糖尿病学会

理事長 厚田 幸一郎

### 学会設立の趣旨

糖尿病患者の加速的増加と相俟って、多くの新しい糖尿病治療薬が上市され、糖尿病治療薬の選択肢が拡大すると同時に糖尿病の薬物療法は複雑化を呈しています。このようななか、薬剤師は薬学的視点から薬物療法のみならず、食事や運動、そして生活習慣全般に至るまで幅広い療養指導の実践・向上に努めるべきです。加えて、専門性を究める学術研究を推進することも重要な課題です。

そのため本学会は、病院ならびに薬局薬剤師、そして基礎薬学研究者の連携を密にし、薬剤師としての糖尿病領域での専門性を高め、糖尿病薬物療法の発展、延いては社会に貢献することを目的とし、糖尿病療養指導の「実践」、「教育」、「研究」を三本柱として会を運営します。

#### 1. 療養指導の実践

学術集会の開催、療養指導に携わる薬剤師の全国的ネットワークの構築および学会ホームページなどで医薬品情報の発信し、療養指導のスキルアップを目指します。

#### 2. 教育

日本糖尿病療養指導士の育成ならびに病診・薬局薬剤師の療養指導に関する教育を行います。

#### 3. 研究

糖尿病を専門領域とする薬剤師による療養指導の成果を明らかにする研究ならびに糖尿病薬物療法に関する基礎および臨床研究を推進します。

本学会では主に以下の活動を行っております。

- 1) 編集委員会
  - ・学会誌の編集および発行
- 2) 広報委員会
  - ・ホームページの維持・管理
- 3) 教育研修委員会
  - ・薬剤師の糖尿病に関する知識・技能の向上を目的とした研修会の開催
  - ・病院、薬局薬剤師および学生の療養指導に関する教育
- 4) 研究推進委員会
  - ・糖尿病を専門領域とする薬剤師による療養指導の成果を明らかにする研究
  - ・糖尿病薬物療法に関する研究
- 5) ネットワーク委員会
  - ・准認定、認定薬剤師ならびに日本糖尿病療養指導士の全国的ネットワーク作り
- 6) 認定委員会
  - ・准認定、認定薬剤師の認定およびその更新の審議ならびに実施に関すること
  - ・准認定、認定薬剤師の認定取得および更新を目的とした研修会の開催
- 7) 試験委員会
  - ・認定薬剤師の認定試験に関すること
- 8) 利益相反委員会
  - ・当学会の利益相反に関すること
- 9) ガイドブック編集委員会
  - ・認定受験のためのガイドブック等の作成に関するすること
- 10) ガイドライン作成委員会
  - ・糖尿病治療薬の適正使用に関するガイドライン等の作成に関すること

## 組織

